

駒ヶ根ルーキーズ 感染防止対策ガイドライン

令和 3 年 2 月 7 日

◆駒ヶ根ルーキーズは、次の注意事項を遵守します。

1 活動における基本注意事項（3 つの密【密閉・密集・密接】を回避する）

（1）活動参加に際して

- ① 選手・指導者・保護者・役員等すべての関係者は、当日の検温を実施し、発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者は参加を認めない。
- ② 14 日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は参加を認めない。
- ④ 県内及び近隣の感染状況を加味し、活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意を取り、チームとして常に参加の意思を確認する。

（2）次の場合はマスクを着用する

- ① 人との距離が概ね 2m とれない場合
 - ② 指導者は、指導中はマスク着用を基本とする。（グラウンド外では下の③と同じ）
 - ③ 基本距離をとれない場合は、指導者、保護者等の集まり・活動についてもマスク着用を基本とする。ただし、熱中症に注意するために基本距離を置いてマスクを外すこと。
 - ④ 屋内での活動は原則マスク着用。ただし、選手が練習する際にはマスクは不要とする。この場合でも一定の距離をとり、指導者等大人はマスクをできる限り着用する。
- ※選手はグラウンド内の練習・試合等においては上記①の基本距離を十分にとるように配慮すれば不要とする。

（3）飲食時（昼食・間食等）の注意

大会、練習試合間で飲食を伴う場合は、選手同士で概ね 2m の距離をとること。また、対面を避け、大きな声での会話は控えること。

（4）手洗い・うがい・消毒の励行等

活動の前後には、手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットを励行し、使用後の備品の消毒などもできる限り実施する。また、チームは手指消毒薬（アルコール消毒）、備品用消毒薬、体温計、ペーパータオル等を常備すること。

2 大会（練習試合）等の注意事項

- (1) 要請があればチーム代表者は、健康チェックシートを速やかに大会本部に提出する。
- (2) ベンチ内では一定間隔を保つよう努力する。
- (3) 試合等において、全選手が密集・密接する声出し、整列などは控える。
- (4) 直接肌が触れ合うハイタッチなどは行わない。
- (5) タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。
- (5) ゴミは各自・各家庭で持ち帰ること。
- (6) 応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとで応援者に注意喚起を行うこと。（大声で声援しない等）

3 チーム内で感染者が出た場合の対応について

- (1) チーム関係者（選手、指導者、保護者等）に感染者が出た場合は、速やかにチームに連絡する。
- (2) チーム責任者は活動後にチーム内に感染者が出た場合、所属連盟に速やかに報告する。
- (3) 感染や濃厚接触の事実が判明した場合は、保健所等関係機関の指示が出るまでチーム活動を中止する。
- (4) その他必要な措置については、関係機関等と協議し決定する。
- (5) 感染の事実が確認されても、選手、チームへの差別偏見につながることから陽性者発生情報に関しては、チーム全体でプライバシー保護に努める。

4 その他

上記の項目以外に、定めのないものは所属連盟、行政機関等への協力及び要請に迅速に対応し、感染拡大を招く恐れのないよう、チーム内において徹底させる。